

地域の話し合い活動の手引き

～農村型地域運営組織

(農村RMO)のすすめ～

いつまでも住み続けられる農村集落のために

令和7年3月発行



鹿児島県農政部農村振興課

1 はじめに

鹿児島県における農村集落の現状として、農業者の高齢化や過疎化が進行しています。特に農業従事者は、平成22年から令和2年の10年間で、6万4千人から3万6千人と4割近く減少しています。（出典：農林業センサス）

総戸数が10戸を下回る農業集落では、集落活動の実施が急激に低下し、3戸を下回ると単独集落での機能維持は厳しい傾向にあると言われています。（農林水産省）

このような中、農用地の保全、地域資源の活用、生活支援など3つの集落機能を補完する複数の集落で構成される農村型地域運営組織（農村RMO）による地域コミュニティ機能の維持・強化が求められています。

いつまでも住み続けられる農村集落のために私たちにできることは、一体何なのか、本書がその考える機会の一端を担うことができましたら、幸いです。



目次

1	はじめに	
2	本書の利用方法	1
3	本県の農業集落等の現状	2
4	農村RMOとは	3
5	農村RMOの進め方	5
	① 立ち上げ期	
	② 形成期	
	③ 定着期	
6	話し合い・合意形成に役立つ手法	12
	① 話し合いのコツ	
	② 話し合いのルール	
7	話し合いを促すワークショップ手法	15
	① 将来人口推計の活用	
	② 農地未来マップ	
	③ ブレーンストーミング・KJ法	
	④ ロードマッピング	
8	農村地域づくり事例	19
	① 県内	
	② 県外	
	③ 伴走支援	
9	活用できる施策支援制度	25
10	参考となる文献	30
11	各種参考様式（アンケート等）	32

2 本書の利用方法

この手引きは、「農村RMOとは」「農村RMOの進め方」「話し合いの進め方・合意形成に役立つ手法」「話し合いを促すワークショップ手法」「農村地域づくり事例」「活用できる施策支援制度」「各種様式(アンケート等)」で構成しています。

「農村RMOとは」「農村RMOの進め方」では、農村RMOの概要や農村RMOの形成のステップとそのヒントなどをまとめています。

「話し合いの進め方・合意形成に役立つ手法」「話し合いを促すワークショップ手法」では、活動を行う上で欠かすことのできない、『地域住民の合意形成』に向け、役立つ方法等をまとめています。地域住民、自治体職員も含めて、ご活用ください。

「農村地域づくり事例」「活用できる施策支援制度」「各種様式(アンケート等)」では、すぐに活用できる様式や施策等をまとめています。

また、この手引きは以下の人たちに活用してもらうことを想定しています。

- これから農村RMOを立ち上げたいと考えている人
- 現在、農村RMOを運営している人
- 地域づくりについて悩みや疑問がある人
- 地域づくりを支援する自治体職員など



3 本県の農業集落等の現状

(1) 農業集落の構成

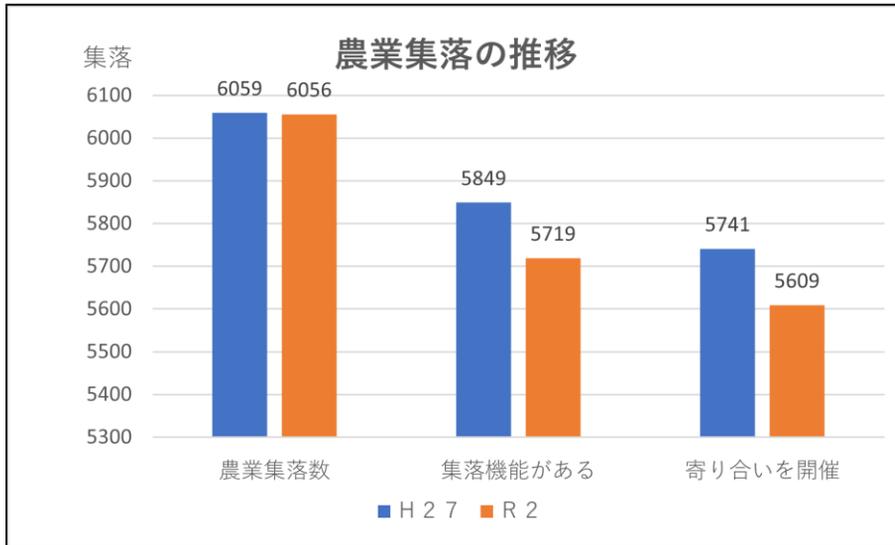
○ 7割が中山間地域

(単位：集落)

都市的地域	平地地域	中間農業地域	山間農業地域	計
514 (8.5%)	1,052 (17.4%)	4,053 (66.9%)	437 (7.2%)	6,056 (100.0%)

R2農林業センサス

(2) 農業集落の推移



寄り合いが減少



集落機能が低下!

農林業センサス

(3) 活性化のための活動状況

(単位：集落)

		伝統芸能	イベント	環境保全	グリーン・ツーリズム	6次産業化	定住促進
H27	農業集落数	2,925	4,041	4,839	345	148	228
	都市住民との連携	215	236	210	94	29	18
	NPO等との連携	261	437	200	47	23	24
R2	農業集落数		4,251	4,894	97	35	139
	都市住民との連携		385	481	28	3	15
	NPO等との連携		470	426	15	3	30

○都市住民やNPO等と連携して活動する集落が増加しています。

農林業センサス

4 農村RMOとは？

農村RMOとは農村型地域運営組織の略称です。
RMOとは地域運営組織の英語表記の頭文字をさします。



農村型地域運営組織とは複数の集落の機能を補完して、農用地保全活動や農業を核とした経済活動と併せて、生活支援等地域コミュニティの維持に資する取組を行う組織の事です。

農村RMO（イメージ図）



出典：農林水産省HP

具体的には、

- (ア) 複数の集落にわたる範囲（例えば、小学校区程度のエリア）を対象に、
- (イ) 複数集落による集落協定や農業法人などの農業者を母体とした組織と、
- (ウ) 自治会、町内会、社会福祉協議会などの多様な地域関係者が連携して協議会を設立し、
- (エ) 「農用地の保全」、 「地域資源の活用」、 「生活支援」の3つの事業に取り組む組織のことを言います。



5 農村RMOの進め方

農村型地域運営組織を新たに立ち上げる場合の活動プロセスを紹介します。

大きく、3つのプロセスに分かれます。

① 立ち上げ期

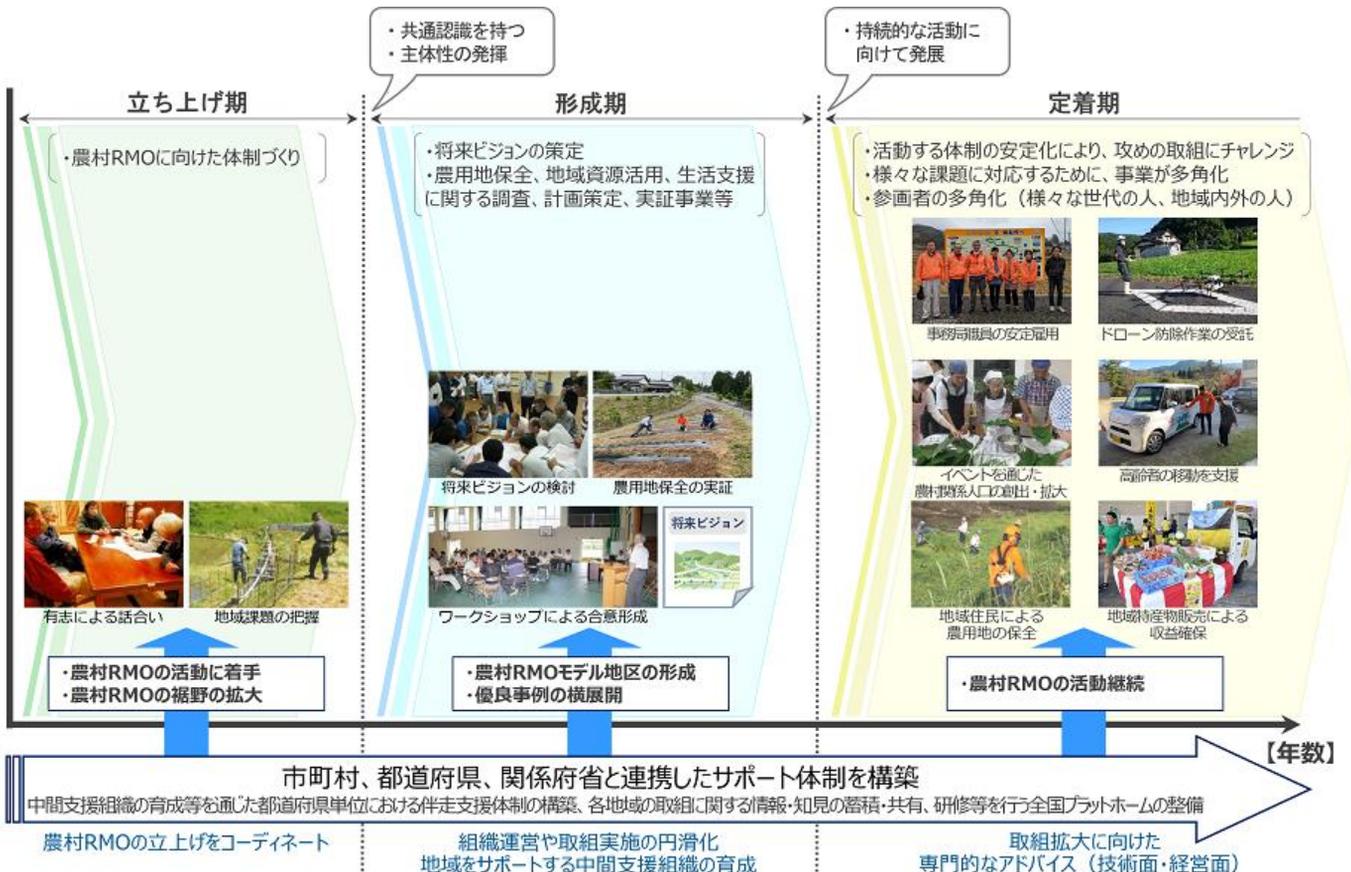
農村RMOに向けた体制づくりの期間

② 形成期

活動を実証していく期間

③ 定着期

活動を継続していくための期間



出典：農林水産省HP

活動 ステップ

活動内容

立ち上げ期

1 仲間を集める

- 既存組織を活かす
- 地域のキーパーソンとの連携
- 先進地事例研修

2 有志による話し合い

- 意向調査
- 地域課題の把握

形成期

3 将来ビジョンの策定

- ありたい姿を出し合う
- ワークショップの開催
- 具体的な計画づくり

4 ビジョン達成に向けた取組

- 農用地保全・地域資源活用・生活支援について実証

定着期

5 組織の自走化に向けた話し合い

- 組織体制づくり
- 事業内容の決定

6 組織的事業展開

- 法人化
- 事業の多角化

活動プロセスの3つのステップ毎の ポイントを紹介します。

《立ち上げ期》

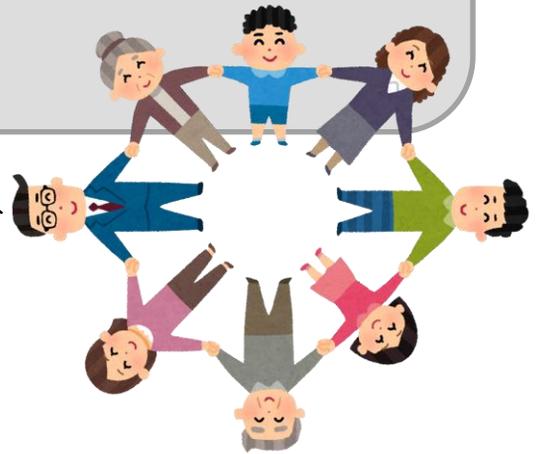
POINT1

〇とともに活動する仲間の輪を広げる

- ・ キーパーソン※と連携
- ・ 地域の核となる方への事前根回し
- ・ 既存組織を活かす

※キーパーソンとは・・・

「地域の全体像をとらえ、地域を熟知し、地域で顔が利く人
(北陸農政局パンフレットから引用)



POINT2

〇地域住民に思いを伝える

- ・ みんなで話せる環境をつくる



POINT3

○事務局・実行部隊となる人材を確保する

- ・ 企業・団体との連携



《形成期》

POINT1

○地域住民と一緒に将来の形を描く

- ・ 少し頑張れば達成可能なビジョン設定
- ・ 「みんなで決める」説得力



《形成期》

POINT2

○活動の幅を広げる

- ・事務局・実行部隊の人員の拡充
- ・小さな成功の積み重ね



POINT3

○活動の資金を確保する

- ・行政の支援制度を調べる
- ・地域資源を活かしたビジネスに挑戦



POINT4

○活動を継続していく

- ・地域への思いを持つ人の輪を広げる
- ・楽しく集まれる場をつくる

《定着期》

POINT1

○負担のかからない活動に見直す

現在の業務と組織体制を整理し、
メンバー間で業務の棚卸・再配分



POINT2

○次世代のリーダー，事務局・実行部隊 の後継者を育成する

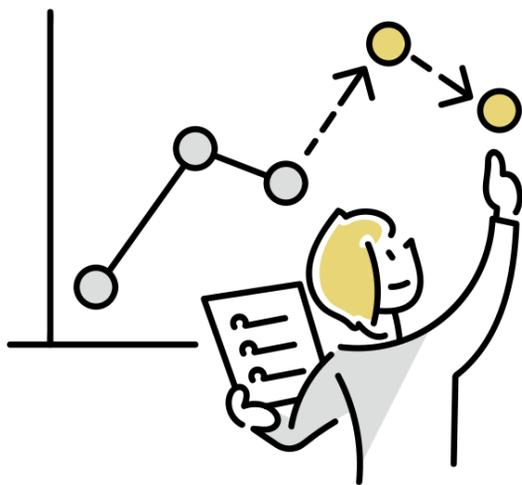
地域内外の新たな人材の掘り起こし
(移住者，他地域で暮らす出身者等)



POINT3

○活動を次世代に引き継ぐ

- ・ 法人化による組織の安定化
- ・ 業務の属人化を防ぐ仕組みづくり
- ・ 組織のあり方を見直す



6 話し合い・合意形成に役立つ手法

「ワークショップ手法」は話し合いを円滑に進めるための手法で、地域住民が主体的に参画し、課題発見や気づき、アイデアの抽出、合意形成を図るなどの場面で活用します。また、ワークショップにはいろいろな手法があり、テーマや目的に適した手法を選択することが大切です。



「ファシリテーター」は、会の進行状況にあわせ、参加者の意見を中立的な立場で引き出し、合意形成を図る役割をもつ、ワークショップに欠かせない存在です。

参加者に主体的に意見を出してもらうためには、次のような工夫が必要です。

- 1 自由に意見を出せる雰囲気づくりをする
- 2 意見は参加者に出してもらう
- 3 参加者全員の意見を尊重する
- 4 良い意見よりたくさんの意見を引き出す



① 《話し合いのコツ》

参加者として

- 何が論点になっているか常に考える
- 意見のはじめに賛成・反対を明らかにする
- 前に発言した人の意見を受け止める
- 伝えたいことは簡潔にはっきりとする
- 発言は「もっといいもの」を考える

ファシリテーター（含む進行役）として

- 常に中立の立場
- 話題がそれたり，論点がずれたりしないように
- 主な発言はメモを取り，確認する
- 参加者全員に意見を求める

② 《話し合いのルール》

- 積極的に意見を述べる
- 感情的な意見は慎む
- 自分の考えを押し付けない
- 他の人の意見をしっかり聞く
- 反対の時は代案を発表する
- 意見が分かれたときは折合い点を探す
- 話し合いで決まったことには協力する



7 話し合いを促すワークショップ手法

① 《将来人口推計の活用》 ※ワークショップのネタ

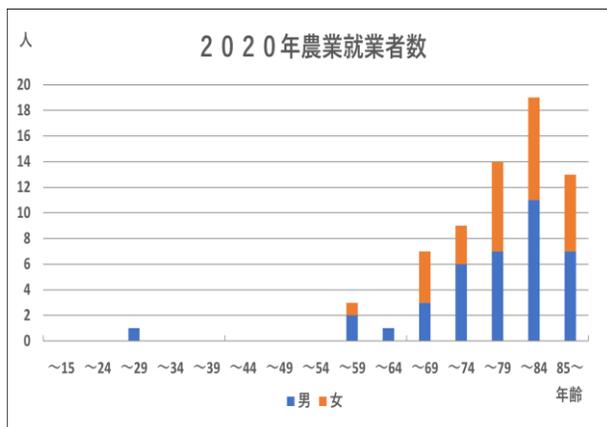
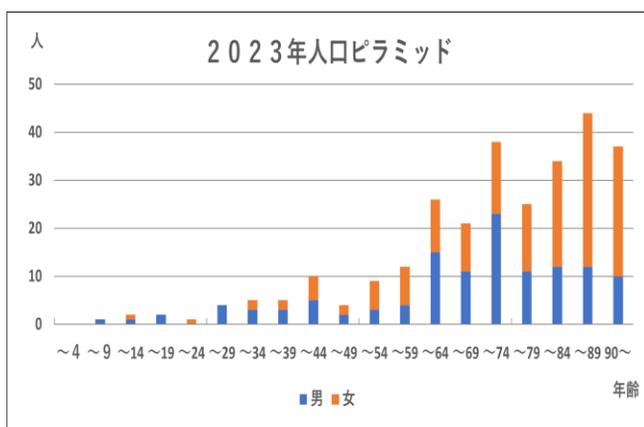
現在の人口ピラミッドを未来にスライドさせた、将来人口推計の基となる人口ピラミッドを使って、前向きな話し合いを進めます。

地域住民への動機づけや危機感の共有などの場面で活用します。

人 □

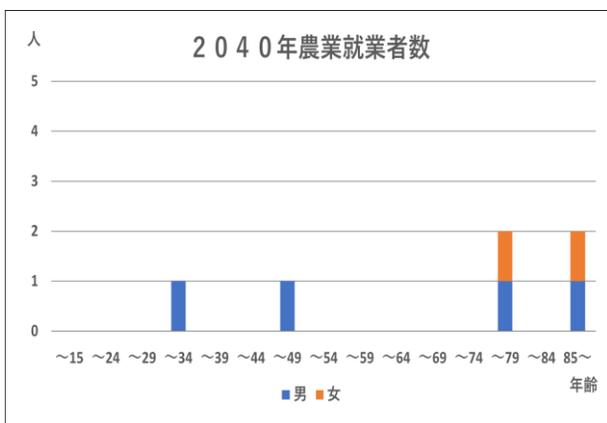
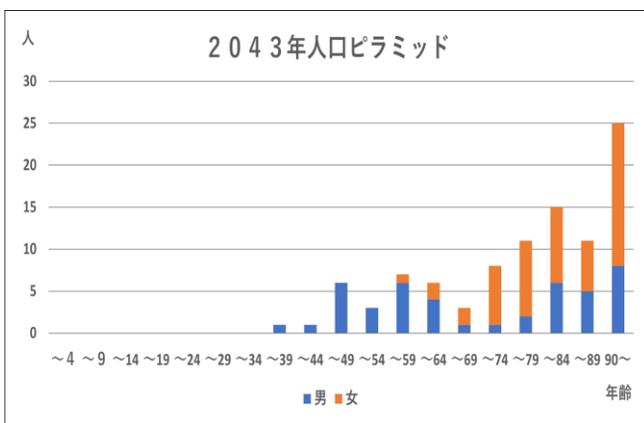
<イメージ>

農業就業者数



20年後

20年後



② 《農地未来マップ》 ※ワークショップのネタ

○集落での農地の使い方の現状と将来像を見える化してこれからどうしていくか話し合います。

地域の問題を自分ごととして捉え、みんなで話し合い合意形成を図る場面で活用します。

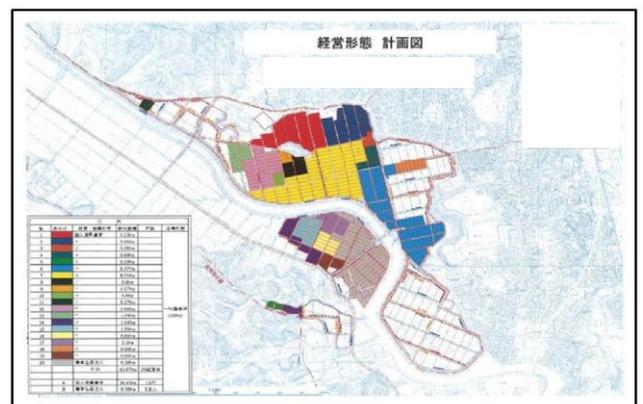
○進め方

- ①話し合う集落の範囲を決める。
- ②話し合う仲間を決める。
- ③話し合いに向けた準備をする（集落の地図、必要な道具、用紙や付箋）
- ④現状を地図に描きながら、みんなで確認する。
- ⑤5年後10年後「どうなりそうか」「どうなっていたらいいか」具体的に話し合いながら、未来予想図を描いていく。

<イメージ> 【現況地図】



【10年後の目標地図】



③ 《ブレインストーミング・KJ法～》

○ 数多くある討議方法の中で、自由な発想で討議し、創造的に問題解決を目指す代表的な手法です。課題に対して浮かんだ各人のアイデアを自由に発言し、また他人のアイデアを聞いて新たなアイデアを思いつくというアイデアの連鎖反応で、よりよい解決策を見出すことができます。

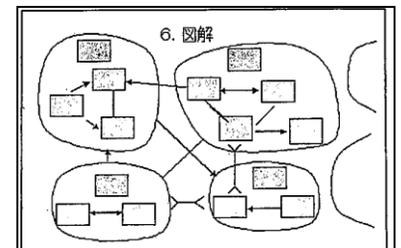
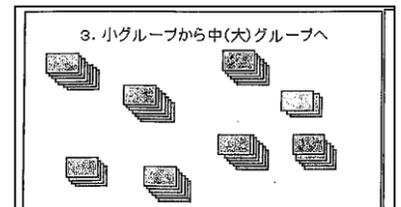
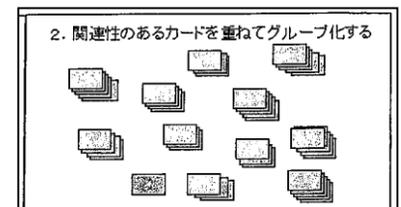
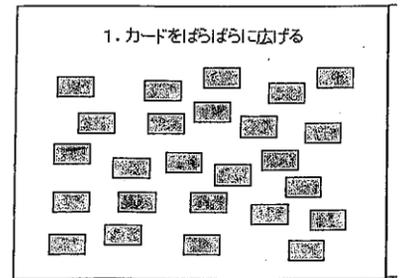
様々な意見やアイデア等、情報を整理し、課題共有や解決策を考える場面で活用します。

○進め方

- ① 7～8人前後のグループを作る。
- ② 進行役を決める。
- ③ 書記を決める。
- ④ テーマの決定を行う。
- ⑤ 現状・問題点について意見を出し合う。
書記は出されたアイデアをカードに書く。
- ⑥ アイデアが出尽くしたらカードの見直しをする。
- ⑦ 関連性のあるカードをグルーピングし、見出しをつける
- ⑧ グループ相互の流れやストーリーを考えながら関係性を書き、配置する。
「対策または改善策」についても⑤から⑧を実施する。
- ⑨ テーマに対する現状と問題点、対策または改善策の図を見ながら、具体的に取組む対策を検討し表記する。

○ルール

- ・ 自由奔放～奔放な発想を歓迎し、突飛な意見もOK
- ・ 批判厳禁～どんな意見にも批判はだめ。
- ・ 量を重視～質より量。アイデアの数で勝負。
- ・ 便乗発展～出てきたアイデアを結合し、改善、更に発展



④ 《ロードマッピング》

○これまでの集落活動の積み重ねを踏まえ、どんな集落でありたいかという目標に向け、いつまでに誰が何をするかを確認する作業です。将来の集落活動のあり方や見直しを検討する場面で活用します。

○進め方

①これまでの活動の振り返りを行う。

②振り返りを踏まえ、5年後、10年後の将来に向けて、どのような活動を残したり、やめたり、復活させたりするかを議論する。

③将来の目標を共有する。

参考：SWOT分析を活用した意見集約方法

	プラス面	マイナス面
内部環境	強み (S) 組織(集落)の良さ 優れているところ 実現できたこと	弱み (W) 組織(集落)の不便な点 不満な点 困っていること
外部環境	機会 (O) チャンス 絶好機 良いタイミング ラッキーなこと	脅威 (T) 不安なこと 不満なこと 悪いタイミング アンラッキーなこと

○出された意見を付箋に書いて「強み」「弱み」「機会」「脅威」ごとに整理し、戦略項目の順位付け

④目標実現に向けて、誰が、いつ、何をするか確認する。

(例) 北山校区コミュニティ協議会農用地保全計画

項目	実施時期		
	1年以内	2年以内	3年以内
農業法人化の設立	○		
新規就農者を呼び込む			○
荒廃農地・遊休農地調査	○		
軽作業作物の定植		○	

8 農村地域の事例

① 県内農村地域の事例

北山校区コミュニティ協議会(鹿児島県始良市)

耕作放棄地・遊休農地の有効活用により，地域資源の新たな活用方法を見出す。また，地域内外の人材活用や，高齢者が活躍できる体制を整えることで，地域の活性化や生きがいづくりを目指す。

【地区概要】

- ・事務局名 始良市農政課
- ・地域の範囲 小学校区（8自治会）
- ・土地の面積 3,315ha ・農地面積 144ha ・世帯数 191戸
- ・構成員 北山校区コミュニティ協議会，農家代表，民生委員，自治会長連
北山上・中甕・北山下・木津志集落協定，北山上・中甕・北山下・木津志女性部等

取組内容

【全体】

- 地域住民によるワークショップで，地域の強み，弱みを出し合い，今後取り組むことを検討し，その結果をもとに地元関係図を作成
- 住民アンケート調査とワークショップ結果をもとに，将来ビジョンを策定



【農用地保全】

- 遊休農地の解消として，約1,500本のヒサカキを定植。栽培から販売までを実証
- 法人設立に向けて話し合い活動を実施



【地域資源活用】

- 新たな農産物を活用した加工品や特産品の試食会・品評会
- 竹林整備及び「黄金北山筍」の加工・販売



【生活支援】

- 地域交流，見守りの場として，地元食材を活用したランチ会の開催



天城町地域づくり協議会（鹿児島県天城町）

直売所を核とした消費者交流や新たな需要創出による農産物の販売収益の拡大，地域内外の多様な人材を活用した地域共同での農用地保全活動を行うしくみを構築する。

【地区概要】

- ・事務局名 天城町農政課
- ・地域の範囲 町内全域
- ・土地の面積 8,040ha ・農地面積 2,110ha ・世帯数 3,049戸
- ・構成員 農業者代表，天城町広域協定運営協議会，天城町商工業者代表
天城町林業者代表，天城町漁業者代表，加工生産者代表

取組内容

【全体】

- ビジョン実現に向けた協議会の運営・体制整備



【農用地保全】

- 農用地保全活動を外部組織（スポーツ少年団等）に委託し，非農家も交えた農用地保全活動を実施
- 赤土流出防止対策として景観作物の実証
- デジタル技術を活用した鳥獣害の軽減対策の実施



【地域資源活用】

- 急速冷凍機を活用した加工品試作
- マルシェの開催
- 水産業拠点施設を活用した直売実証



【生活支援】

- 移動販売による高齢者の買い物支援
- 高齢農家の農産物集出荷の試行
- 生活支援に関する部署との連携体制づくり

② 県外農村地域の事例

東米良地区1000年協議会（宮崎県西都市）

無人販売所の運営や地域資源の商品開発等の収益化，地域内外からの賛助会員の会費を活用した村おこし活動を展開する。

【地区概要】

- ・事務局名 NPO法人東米良創生会
- ・地域の範囲 集落の集合体（12集落）
- ・土地の面積 14,200ha ・農地面積 143ha ・世帯数 117戸
- ・構成員 東米良地域づくり協議会，東米良1区・2区・3区，NPO法人東米良創生会
西都市猟友会，銀上集落協定，（株）農業法人かぐらの里，（株）廣末鯉家
・米良産魚，石川林業，社会福祉法人善仁会本部，西都市

取組内容

【全体】

- 最新の技術と自然の恵みを取り入れた維持継承できる最小単位の集落づくり



【農用地保全】

- ゆず熟練農家の栽培技術継承におけたIT試作機器等の開発
- 農用地管理や鳥獣害防止対策の省力化



【地域資源活用】

- ゆず，ジビエ，竹林等の地域資源を活用した商品開発
- ジビエ処理加工施設を設置・活用した，運搬方法等の実証や未利用部位の活用



【生活支援】

- オンデマンドカーやドローン等による物流
- LINEを活用した無人販売システムを構築し，キャンプ場及び「憩いの場」で実証

根獅子・飯良まちづくり運営協議会(長崎県平戸市)

耕作放棄地を解消し地域特産物の生産・加工・販売等を目指す。

また、鳥獣被害にも強い、新たな地域資源（農産物）の開発を行うとともに、高齢者向け生活支援サービスを実施する。

【地区概要】

- ・事務局名 根獅子・飯良まちづくり運営協議会
- ・地域の範囲 小学校区（6集落）
- ・土地の面積 280.6ha ・農地面積 64ha ・世帯数 232戸
- ・構成員 根獅子町住民，飯良町住民，平戸市地域おこし協力隊
その他協議会が構成員として認めた者

取組内容

【全体】

- 将来ビジョンの実現

【農用地保全】

- ゾーニングした農地での切り枝（ヒバ・アカシア等）の植栽実証と集出荷体制の確立



【地域資源活用】

- 地域資源を活用した加工品等の試作，試験販売



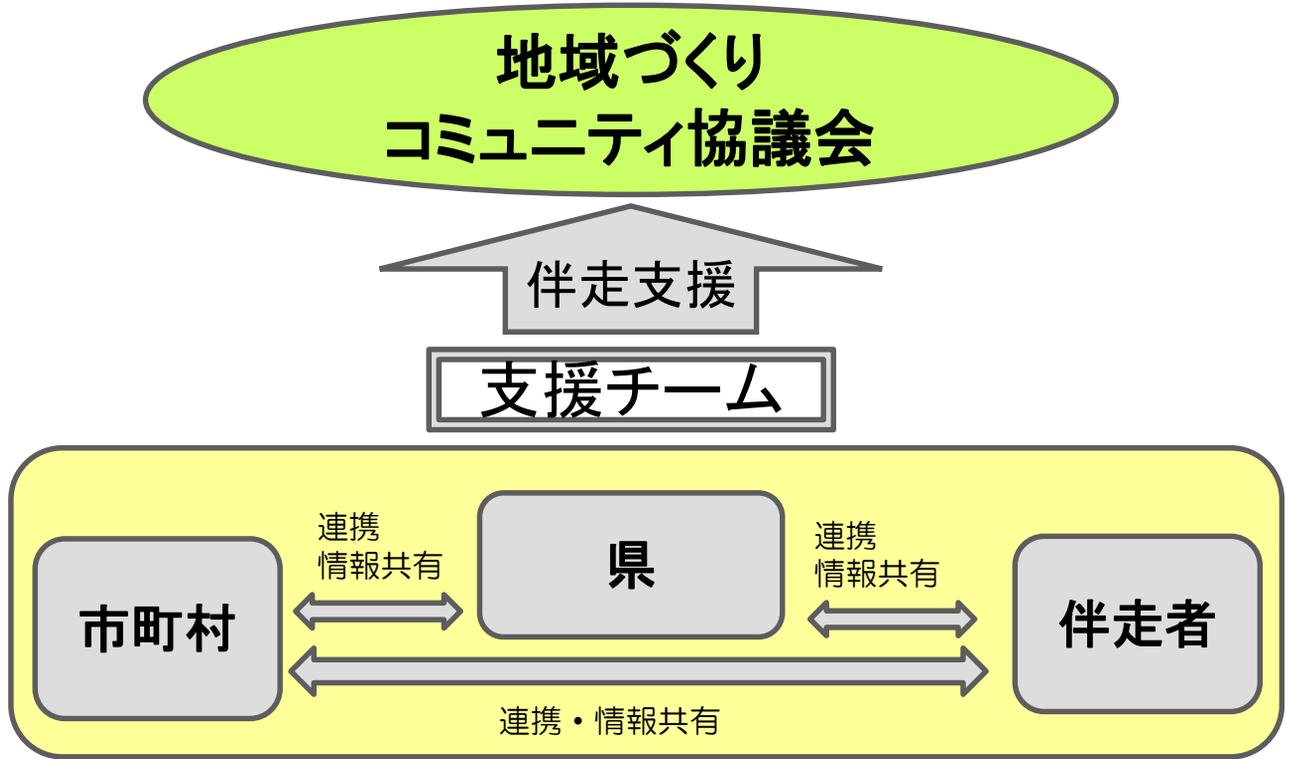
【生活支援】

- 高齢者参加による農産物栽培と集出荷体制づくりの検討
- 高齢者の見守り活動のしくみづくり



③ 県内伴走支援の事例

対象地区の支援体制



伴走支援の3か年のイメージ

	1年目	2年目	3年目
	信頼関係構築 課題整理	計画の実践と 見直し	振り返りと 自走化
モデル地区	支援地区の現況把握 話し合いの方向づけ ビジョンの策定 支援	地区リーダーへのアドバイス ビジョンの見直し・点検 実証活動への支援	組織の持続・自立化にむけた取組支援
関係機関	支援地区の進捗状況把握と地区情報の共有 連携体制の構築		

伴走支援のフロー図

～ビジョン策定から実践活動まで～

支援ステップ

動機づけ
意識啓発



現状把握



問題抽出
課題整理



解決方策
合意形成



役割分担
実践活動



評価

支援内容

- 先進地区等の情報収集
- 県内外の事例紹介
- アンケート調査項目・調査方法の情報提供

- アンケート結果のフィードバックの仕方
- ワークショップの進め方
- ワークショップの意見集約とアイデアの整理の仕方
- 将来ビジョン内容の検討

- 将来ビジョン・行動計画案の作成
- 将来ビジョンの地域へのフィードバックの仕方
- 役場、関係機関との連携について

- 目標達成に向けたスケジュール管理
- 持続可能な地域運営組織づくりについて

フィードバック

9 活用できる施策支援制度

(国庫)

《内閣府》

- ・ 小さな拠点・地域運営組織の形成（小さな拠点情報サイト）

<https://www.chisou.go.jp/sousei/about/chiisanakyoten/index.html>



《総務省》

- ・ 特定地域づくり事業協同組合制度

https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/c-gyousei/tokutei_chiiki-dukuri-jigyou.html



《農林水産省》

- ・ 農村型地域運営組織（農村RMO）の推進
～地域で支え合うむらづくり～

<https://www.maff.go.jp/j/nousin/nrmo/>



- ・ 農山漁村振興交付金

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kouryu/shinko_kouhukin.html



- ・ 中山間地域等直接支払制度

https://www.maff.go.jp/j/nousin/tyusan/siharai_seido/



《農林水産省》

・ 多面的機能支払交付金

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai.html



・ 農福連携

<https://www.maff.go.jp/j/nousin/kouryu/noufuku/index.html>



・ 農山漁村地域づくりホットライン

<https://www.maff.go.jp/j/nousin/hotline/index.html>



※この他，厚生労働省の重層的支援体制整備事業など活用を検討できる補助事業が様々あります。

詳しい内容をお知りになりたい方は以下，URLからお調べ下さい。

<https://www.maff.go.jp/j/nousin/nrmo/sesaku.html>



9 活用できる施策支援制度

(鹿児島県)

《農村振興課事業》

①かごしま農村創生塾

むらづくり活動に取り組み、次代を担うリーダー育成のため研修を行っています。

【第1回】

人口予測プログラムを用いて、地域人口及び農業就業者の人口を分析します。

これに基づき、地域人口維持に向けた「人口安定化シナリオ」を作成します。



【第2回】

県内外の先進地事例に係る講演会を開催します。



【第3回】

県内の先進地視察研修及び1年間の研修を振り返り、今後のむらづくり活動に係る計画を策定します。



②むらづくりサポーター派遣等（R7年度実施予定）

地域と行政の橋渡しができる方（むらづくりサポーター）等を地域に派遣するなど実践者へのサポートを実施します。むらづくりサポーターの募集も行っております。地域と行政の橋渡しを行いたい方もぜひご連絡ください。

①地域のサポート

- ・ 取組についての助言
- ・ リーダーのサポート



- ・ 人材をリストアップし
選定

③話し合い活動の支援 (ファシリテーター)



②行政との橋渡し

助言者

- ・ 話し合いのノウハウを持つ専門家を派遣し、話し合い活動を推進



《農村振興課事業》

③活かそう！むらの宝★ビジネス応援事業

多様な形で農村に関わる人材を確保するため、コミュニティビジネスなど地域資源を活用した農村の新たなしごとづくりのスタートアップを支援しています。



地域に魅力ある農産物や棚田があるけれど、活用できていない…
高齢化などにより、地域での働き手が少なくなっている…

本事業は、地域資源(農産物や棚田など)を活用した新たなしごとづくりのスタートアップを支援します！



- ・対象経費：報償費，需用費，役務費，委託費，賃借料等
 - ・補助率：2/3以内(最大100万円)
- ※本事業はソフト事業のため、施設整備等に係る経費は対象外になります。(以下は一例です。)



【本事業で取り組めること】



パターン①：地元産農産物を活用した加工品の開発



パターン②：農家民宿等の開業に向けた空き家活用

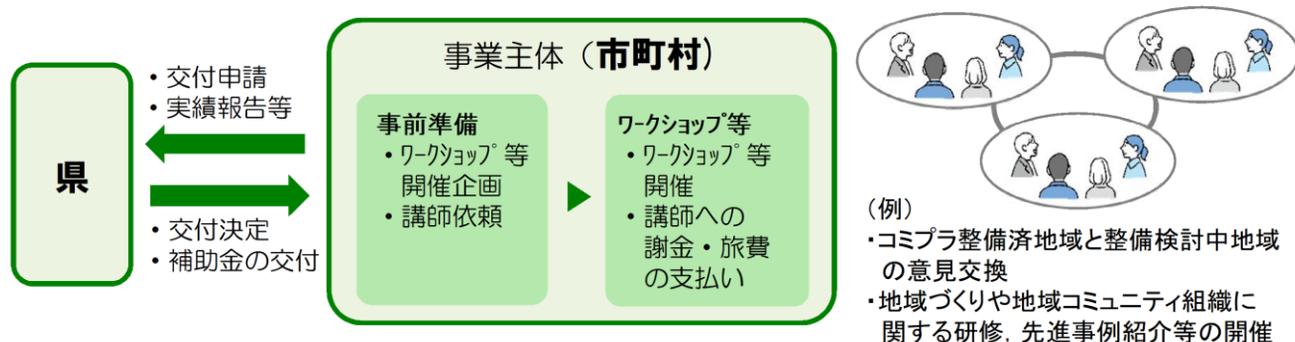


《くらし共生協働課事業》

①共生・協働の地域コミュニティづくり推進事業

「共生・協働の地域社会づくり」に向け，地域の多様な主体が連携・協力して地域課題の解決等に取り組んでいくための地域コミュニティの再生・創出に向けた取組を促進する事業です。

市町村が実施する地域コミュニティを考える講演会や地域コミュニティワークショップ・研修会等への助成も実施しています。



《共生・協働センター事業》

①地域づくりに関する相談・活動支援等

<https://www3.kagoshima-pac.jp/>

②地域連携アドバイザー

<https://www3.kagoshima-pac.jp/effort/pref/>

※この他，活用を検討できる補助事業が様々あります。
詳しい内容をお知りになりたい方は以下，URLからお調べ下さい。

鹿児島県地域づくりオールガイド

<https://www.pref.kagoshima.jp/ac06/kurashi-kankyo/chiiki/guide/allguide.html>



10 参考となる文献

- ・ 農村型地域運営組織（農村RMO）形成の手引き
（農林水産省北陸農政局）

[https://www.maff.go.jp/hokuriku/nouson/
attach/pdf/230420-2.pdf](https://www.maff.go.jp/hokuriku/nouson/attach/pdf/230420-2.pdf)



- ・ 小さな集落活性化事業ハンドブック（高知県）

[https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/
2024032900266/](https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2024032900266/)



- ・ 農村型地域運営組織（農村RMO）形成支援事業の取組事例集（熊本県）

[https://www.pref.kumamoto.jp/uploaded/life/201
198_523599_misc.pdf](https://www.pref.kumamoto.jp/uploaded/life/201198_523599_misc.pdf)



- ・ 地域計画策定マニュアル（農林水産省）

[https://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/manual_ve
r5_1.pdf](https://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/manual_ver5_1.pdf)



- ・ 住み慣れた地域で暮らし続けるために
（内閣府地方創生推進事務局）

[https://www.chisou.go.jp/sousei/about/chiisanak
yoten/tebiki.pdf](https://www.chisou.go.jp/sousei/about/chiisanak-yoten/tebiki.pdf)



- ・ 「小さな拠点」づくり事例集
（内閣府地方創生推進事務局）

[https://www.chisou.go.jp/sousei/about/chiisanak
yoten/pdf/jireisyuu.pdf](https://www.chisou.go.jp/sousei/about/chiisanak-yoten/pdf/jireisyuu.pdf)



- ・行政職員による小さな拠点・地域運営組織の形成に向けた研修の進め方の手引き

(内閣府地方創生推進事務局)

https://www.chisou.go.jp/sousei/about/chiisanak-yoten/pdf/kenshu_tebiki.pdf



- ・地域の課題解決を目指す地域運営組織の法人化
～進め方と事例～ (内閣府地方創生推進事務局)

https://www.chisou.go.jp/sousei/about/chiisanak-yoten/pdf/05_houjinkaguidebook.pdf



- ・地域運営組織法人化のススメ

(内閣府地方創生推進事務局)

<https://www.chisou.go.jp/sousei/about/chiisanak-yoten/pdf/houjinkanosusume.pdf>



参考資料

- ・地域振興のための普及活動のための手引き集
(平成15年3月) (鹿児島県)

書籍でも参考となるものが多数販売されております。
以下、一部紹介します。

- ・ワークショップ入門 (全国農業会議所)
- ・集落での話し合いの手引き (みんなの集落研究所)

ⅠⅠ 各種参考様式

※実際に使用されたアンケート様式です。参考に設問等御検討ください。

＜天城町地域づくり協議会＞

＜アンケート用紙＞

問1. あなたについてお聞かせ下さい。

- ① 性別を教えてください。 男性 女性 答えたくない
② 年代を教えてください。 10代以下 10代 20代 30代 40代
50代 60代 70代 80代以上
③ どちらにお住まいですか。 天城町 徳之島町 伊仙町 その他

問2. あなたは今回のマルシェを何で知りましたか。(複数回答可)

- SNS (インスタ等) チラシ クチコミ AYT その他 ()

問3. 今回のマルシェで、何が一番楽しみですか。1つ選んで下さい。

- 農産物 (メロン、野菜等) 苗もの 食品 フリーマーケット
ステージ発表 体験コーナー おもてなし わんにゃん
その他 ()

天城町では、令和4年7月に、天城町地域づくり協議会を発足しました。

天城町が元気になるために、みなさんの意見をお聞かせ下さい。

問4. 天城町で自慢できるところ、いいところはどこですか。(複数回答可)

- 自然が豊か 子育てがしやすい 産業の担い手がいる (若手農家がいる等)
人情がある 食・伝統文化が豊か 長寿・子宝
その他 ()

問5. 天城町で困っていることは何ですか。(複数回答可)

- 空き住宅が少ない 交通手段が少ない 買い物をするところが少ない
娯楽施設がない 子どもを連れて遊びに行ける場所が少ない
食事をするところが少ない 地元野菜や加工品が買える場所が少ない
地域への関心が薄れつつある 伝統文化が薄れつつある コストが高い
その他 ()

問6. 天城町の活性化のために、どんなことに取り組んで欲しいですか。

[]

問7. 天城町が元気になるためにわたしたち(自分)ができることは何だと思えますか。

[]

問8. 今後、どのようなイベントを開催して欲しいですか。

[]

※ 両面ご記入後、このアンケート用紙をおもてなしコーナーへ提出して下さい。
アンケートにご協力頂きありがとうございます。

<北山校区コミュニティ協議会>

北山地区 地域づくりアンケート ～皆さんの声をお聞かせください～

北山地区にお住いの皆さん、こんにちは！暑くなってきましたが、元気で御過ごしでしょうか。

さて、北山校区コミュニティ協議会では、地域で暮らす皆さんから、日頃思っていることやご意見をお聞きし、これからもみんなで地域を元気にする取り組みを検討していくために、地域皆さんからのアンケートを行うことにしました。

『おいせ～にゃ、そげなあた～わからん』と言わず、思っていることをそのままお聞かせください。

問1 あなたの年齢と性別について、あてはまるものに○をつけてください。

- | | | | | |
|------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| (年齢) | 1. 20歳以下 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 | 4. 40～49歳 |
| | 5. 50～59歳 | 6. 60～69歳 | 7. 70～79歳 | 8. 80歳以上 |
| (性別) | 男性 | ・ | 女性 | |

問2 あなたのお住まいはどの自治会ですか。あてはまるものに○をつけてください。

- | | | | |
|----------|-----------|-----------|----------|
| 1. 上自治会 | 2. 中自治会 | 3. 木津志自治会 | 4. 宮脇自治会 |
| 5. 馬場自治会 | 6. 石ヶ迫自治会 | 7. 北野自治会 | 8. 山元自治会 |

問3 あなたのお仕事にあてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | | |
|-------------|--------------|------------|-----------|
| 1. 農業 | 2. 林業 | 3. 自営業 | 4. 会社員 |
| 5. 公務員・団体職員 | 6. パート・アルバイト | 7. 専業主婦（夫） | 8. 高校-大学生 |
| 9. 無職 | 10. その他（ ） | | |

問4 日常の主な交通手段は何ですか。あてはまるものに1つに○をつけてください。

- | | | | |
|--------|--------------|-----------|---------|
| 1. 自動車 | 2. バイク（原付含む） | 3. バス | 4. タクシー |
| 5. 自転車 | 6. 徒歩 | 7. その他（ ） | |

問5 近所とのつきあいについて、悩みなどはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1. 地域・集落での仕事、行事が多くて、忙しすぎる
- 2. 隣近所とのつきあいが、わずらわしいと思うことがある
- 3. 集落内に、話し相手や仲間が欲しい
- 4. その他 ()
- 5. 悩み要望はない

問6 あなたは地域活動に関心がありますか。あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。また、その理由としてあてはまるものすべてに○をつけてください。
※地域活動とは、地域・集落の活動や共同作業、自治会の祭り・行事・イベント等

- | | |
|---|--|
| <p><選択肢></p> <p>1. 関心があり、積極的に参加している</p> | <p><理由></p> <ul style="list-style-type: none">1. やりがいがある楽しい2. 何かの役に立てる3. 知り合いや仲間が増える4. 時間的に余裕がある5. その他 () |
| <p>2. 関心はあるが、積極的に参加していない</p> | <p><理由></p> <ul style="list-style-type: none">1. 仕事・学校などで時間的に余裕がない2. お金がかかりそう3. 人間関係が面倒そうである4. 知り合いが少ない5. 体力がない6. 自分が役に立つか不安7. その他 () |
| <p>3. 関心はないが、付き合いで参加している</p> | <p><理由></p> <ul style="list-style-type: none">1. 時間があるからなんとなく2. 周りの目が気になる3. 活動には関心がないが、地域の人の付き合いは大事にしたい4. 人に頼まれた、すすめられた5. その他 () |

	<理由>
4. 関心はないし、関わりたいとも思わない	1. 興味が ない
	2. 時間的余裕が ない
	3. 人間関係が不安
	4. 自由な意見が言えなさそう
	5. 体力が ない
	6. 地域活動に意義を感じない
	7. その他 ()

問7 日常生活について、不安に感じていること・困っていることはありますか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 食事づくり、選択、ゴミ出しなどの日常生活のこと
2. 庭作業（草取り）、電気器具修理など軽作業のこと
3. 農地、山林の維持管理のこと
4. 日常的な相談をする相手がいないこと
5. 看病や世話をしてくれる人がいないこと
6. 健康面への不安があること
7. 緊急時の相談先になってくれる人がいないこと
8. 災害への備えや避難に関すること
9. 自家用車の運転に不安があること
10. 買い物・通院などの移動手段（交通手段）に関すること
11. 生活道路などの環境整備に関すること
12. コンビニ・商店が少なく、日常の買い物が不便なこと
13. 身近に預貯金を引き出せる金融店舗がないこと
14. 福祉サービス（デイサービス・介護施設）が利用しづらいこと

問 1 4 地域・集落内で、あなたが誇りに思っているものはなんですか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 地域内の景観・自然環境	6. 地域内出身の著名人
2. 地域内の名所・旧跡	7. 地域内に暮らす人々
3. 地域内の特産物（農産物、林産物、加工品等）	8. 地域内の助け合い等の社会関係
4. 地域内の産業	9. その他（ ）
5. 地域内の諸行事（祭り、イベント等）	10. 地域内に誇りと思うものはない

問 1 5 あなたが家の農業に従事する度合いを教えてください

①中心的な農業従事者である ②補完的な農業従事者である ③農業には従事していない

問 1 6 経営主とその配偶者の方に伺います。あなたの家には後継者がおられますか。

①後継者と一緒に住んでいる。

②一緒に住んでいるが、将来はどうか未定である

③現在は一緒に住んでいないが、将来は戻る予定である。

④一緒に住んでいないし、将来戻るかどうかわからない。

⑤一緒に住んでいないし、将来戻る予定もない。また、後継者はいない

問 1 7 あなたの家の農業は、後何年くらいできると考えていますか。

①20年以上 ②10年以上 ③5年以上 ④3、4年

⑤1、2年 ⑥もうやめたい

問 1 8 今後あなたの家の農業は、どのようにしたらよいと思いますか

①現状維持 ②農地を借りるなど、経営規模を拡大したい

③経営規模を縮小したい ④すべてやめたい ⑤その他（ ）

問 19 問 18の質問で①を選ばれた方は次の質問にお答えください。
どうして①を選んだのですか

- | | |
|------------------|------------------------|
| ①農業で生計を立てているから | ②あまり備かっていないが、やりがいがあるから |
| ③農地を荒らすわけにいかないから | ④飯米を確保したいから |
| ⑤その他 () | |

問 20 問 18の質問で③④を選ばれた方は次の質問にお答えください。
どのようにして規模縮小、あるいはやめますか。

- | | |
|------------------------|--------------------|
| ①集落の人に貸したい | ②集落外の人でもいいので、貸したい |
| ③人には貸したくないので、荒れても仕方がない | ④できれば売りたい ⑤その他 () |

問 21 今後、集落の農業を維持、発展させるためには何が必要だと思いますか。
3つ以内にお答えください。

- | | | |
|------------|-----------|-----------|
| ①農業の担い手の確保 | ②農地の圃場整備 | ③道路・河川の整備 |
| ④栽培技術の向上 | ⑤荒廃農地の利活用 | ⑥農地の貸借の推進 |
| ⑦農業機械の共同利用 | ⑧新しい作物の導入 | ⑨水源の確保 |
| ⑩その他 () | | |

問 22 あなたは集落の農業・農地を担う法人（集落営農組織）が出来た場合、参加しますか。

- | | | | |
|-----------|----------|--------|--------|
| ①積極的に参加する | ②農地を預けたい | ③参加しない | ④わからない |
|-----------|----------|--------|--------|

買い物状況を確認する質問です。

問 23 買い物に行く人について、日頃どなたが良く食料品の買い物に行きますか。
以下の中から1つ選んでください

- | | | |
|-----------|-----------|--------------|
| ①本人 | ②配偶者（妻・夫） | ③息子・娘（同居・別居） |
| ④孫（同居・別居） | ⑤友人・知人 | ⑥その他 () |

問 2 4 買い物場所 日頃、食料品を購入されている場所はどこですか。
以下の中から頻度が多いものを2つまで選んでください。

- | | | |
|------------|-----------------|----------|
| ①スーパーマーケット | ②コンビニエンスストア | ③ドラッグストア |
| ④生協などの宅配 | ⑤商店街などの店舗（個人店舗） | ⑥その他（ ） |

問 2 5 買い物への交通手段と時間について、買い物に行く際に、よく利用する交通手段はどれですか。以下の中から2つまで選んでください。

- | | | | |
|---------------------------|--------------|---------------|-----|
| ①徒歩（杖やシルバーカー、車いすなどの利用も含む） | ②自転車 | | |
| ③オートバイ・原付 | ④自家用車（本人が運転） | ⑤自家用車（他の人が運転） | ⑥バス |
| ⑦鉄道 | ⑧タクシー | ⑨その他（ ） | |

問 2 6 買い物頻度について、食料品の買い物には週に何回位行きますか。
以下の中から1つ選んでください

- | | | |
|--------|----------|-----------|
| ①週5回以上 | ②週3～4回程度 | ③週1～2回程度 |
| ④週1回未満 | ⑤月に1～2回 | ⑥ほとんど行かない |

買い物の不便さに関する質問です。

問 2 7 買い物全般の状況について、日頃、食料品に限らず、生活のなかで
買い物に不便を感じることはありませんか。

- | | |
|-----|-----|
| ①ある | ②ない |
|-----|-----|

問 2 8 買い物に不便を感じる場合、どのような理由で不便を感じていますか？
以下の中から2つまで選んでください。（不便を感じる方がいる方のみ）

- | | | |
|--------------|-----------------------|-----------------|
| ①店が遠い（近所がない） | ②商品の品揃えが少ない | ③買った物を持って帰るのが大変 |
| ④坂道が多い | ⑤家族やれヘルパーなどの手助けが必要なため | |
| ⑥その他（ ） | | |

問 29 欲しいと思うサービスについて、食料品の買い物をするにあたり、あったら便利、利用したいと思うサービスを以下の中から3つまで選んでください

- ①サロンのな地域食堂サービスのようなものが欲しい
- ②移動販売など、近所で買い物できる場が欲しい
- ③店で買ったものを自宅までとどけてほしい
- ④電話やFAXなどで注文し、自宅まで届けてほしい
- ⑤自分の代わりに買い物をして来てほしい
- ⑥買い物できる場所まで車で送迎してほしい
- ⑦その他 ()

問 30 買い物における重視点について、日頃の買い物であなたが重要だと思うことについて当てはまるものを3つまで選んでください。

- ①実際の商品を目で見て選べること
- ②歩ける範囲のお店で買い物できること
- ③できるだけ安く商品が安く揃う事
- ④鮮度の高い食品が手に入る事
- ⑤お店の人と挨拶や会話ができること
- ⑥家族や友人と一緒に買い物をする事
- ⑦できるだけ時間をかけずに商品を購入できる事
- ⑧買った商品を家まで届けてもらえること
- ⑨他の人にお手伝い（支援）をしてもらえること
- ⑩外出せずに買い物ができる事
- ⑪公共交通機関（バス・電車）が充実していること
- ⑫安い交通費で店まで行けること
- ⑬商品や売り場を通して、季節を感じる事ができること
- ⑭欲しい商品を依頼すれば、それを持ってきてくれる「御用聞き」があること
- ⑮ひとつの店舗で、食品から日用品まで揃う事
- ⑯その他 ()

問 3 1 買い物と同時にしたい用事について、食料品の買い物と一緒にいきたい（済ませたい）場所はどこですか。以下から2つまで選んで下さい。

①病院・薬局	②市役所・公的機関	③銀行・郵便局	④美容院・理髪店
⑤食料品以外の店	⑥特にない	⑦その他（	）

最期に自由にお書きください。

アンケートは以上になります。

このたびは、お忙しい所貴重な時間を割いて、アンケートに御協力頂き誠に有難う御座いました。アンケートの集計・分析結果は、後日地域の皆様にお知らせ致します。

提出期限 8月 20日まで
 各自治会長さんへ提出ください。

皆が住んで良かったと思える地域づくりを目指します。

北山校区コミュニティ協議会 会長

作成協力

鹿児島県農業・農村振興協会
県農業開発総合センター普及情報課
県男女共同参画局くらし共生協働課